

人文学科

●学科の教育理念と教育目的

人文学科では、人文学の知を新たに統合して学ぶために、人文学の専門知を学修し、それを実社会における実践力へと高めることをめざしています。既存の知識を机上のものにとどめることなく現実に使える実践知として組み替えることによって、21世紀の社会に柔軟に対応しかつ貢献できる人材を育成します。

●学科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけている。
2. 人文諸学の学問内容および方法を理解している。

<思考・判断>

3. 自ら設定した課題について、人間文化・地域文化・歴史文化・言語文化のいずれかの学問領域の研究方法を用いて、考察することができる。

<関心・意欲>

4. 人文学の知を実践の力へと高めることができる。
5. 社会における自分の役割を自覚することができる。

<態度>

6. 人文学の知をもって地域社会および国際社会のニーズに応えることができる。
7. 生きた文化や生きた社会を創ることに寄与できる。

<技能・表現>

8. 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭表現や文章表現によつて的確に伝えることができる。

●学科のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

<知識・理解>

1. 高等学校で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識を有している。

<思考・判断>

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

<関心・意欲・態度>

3. 言語・文化・文学・歴史・人間・思想・地域・社会などに興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求したいと考えている。

<技能・表現>

4. 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。<技能・表現>

●学科のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針, カリキュラムの特徴・特色)

人文学科には昼間主コースと夜間主コースがあり、それぞれ人間文化コース(人間文化分野, 地域文化分野, 歴史文化分野)と言語文化コース(言語学分野, 日本アジア言語文化分野, 欧米言語文化分野)の2コース・6分野があります。人文学の専門知を学修するために、二つのコースのうちいずれか一つのコースに所属し、さらにそのコースの中の一つの分野について深く学びます。加えて、人文学の専門知を実社会における実践知へと高めるために、実践科目(社会実践, コミュニケーション, 文化探求)が用意されています。また、昼間主の特別コースとして観光まちづくりコース(観光文化系)があります。